

2016-17シーズン定期演奏会

東京フィルハーモニー交響楽団

指揮：アンドレア・バッティストーニ

ピアノ：松田華音*

ラフマニノフ : ピアノ協奏曲第2番*

チャイコフスキー：交響曲第6番『悲愴』

Subscription Concert 2016-17 Season Tokyo Philharmonic Orchestra

Conductor: Andrea Battistoni

Piano: Matsuda Kanon*

Rachmaninov: Piano Concerto No.2*

Tchaikovsky: Symphony No.6 "Pathétique"

2017.

3.12 (日) 15:00開演

Bunkamura オーチャードホール

March 12(Sun), 2017 15:00 Bunkamura Orchard Hall

3.13 (月) 19:00開演

東京オペラシティ コンサートホール

March 13(Mon), 2017 19:00 Tokyo Opera City Concert Hall

主催：公益財団法人 東京フィルハーモニー交響楽団 助成：文部科学省 文化庁 文化芸術振興費補助金（舞台芸術創造活動活性化事業）
後援：イタリア大使館 イタリア文化会館 協力：Bunkamura (3.12公演)



Embassy of Japan
Tokyo



AMBASCIATA DEL
GIAPPONE



オフィシャル
サプライヤー

SONY

Rakuten

マルハン

LOTTE

ゆうちょ銀行

©上野隆文

第89回オーチャード定期演奏会

指揮:アンドレア・バッティストーニ

第108回東京オペラシティ定期シリーズ

指揮:アンドレア・バッティストーニ

2017.3.12(日)15:00開演
Bunkamura オーチャードホールピアノ:松田華音*
ラフマニノフ/ピアノ協奏曲第2番*
チャイコフスキー/交響曲第6番「悲愴」2017.3.13(月)19:00開演
東京オペラシティ コンサートホールピアノ:松田華音*
ラフマニノフ/ピアノ協奏曲第2番*
チャイコフスキー/交響曲第6番「悲愴」

バッティストーニ、ロシア音楽を語る。 —アンドレア・バッティストーニ—

ロシア音楽を取り上げる意義について—

「チャイコフスキーが特にそうですが、ロシア音楽はオーケストラのなかに「歌」があって、音楽の中心にメロディがあります。そこがイタリア音楽によく似ています。哀愁、豊かな表情……。音楽のなかに強い感情をあふれさせ、作曲家の日記であるかのように表現するところが僕たちの感覚に近い。それに、チャイコフスキーの『悲愴』をイタリアで初めて指揮したのは『イリス』を作曲したマスカーニで、以来、トスカニーニを筆頭に、イタリア人指揮者がロシア音楽を数多く指揮してきた長い伝統があるのです」

チャイコフスキーの交響曲第6番「悲愴」について—

「『悲愴』は最後のロマン派交響曲で、これまで何度も指揮してきた、僕にとって特別な作品です。最初から最後まで絶望的な雰囲気貫かれ、ワルツや行進曲さえも悲痛な視線が注がれた絶望的な楽章になっています。それを作曲家個人の絶望に結びつけるのは簡単ですが、チャイコフスキーの視線はもっと広く、先々にまで注がれていました。『悲愴』は世界の終りの予兆です。マラーより早く、20世紀の危機、悲しみと苦痛に満ちた荒廃の世紀を予言していたのです。もの悲しいノスタルジックな交響曲だと思われがちですが、実は、壊れた人間へと視線を投げかけた、もっと激しい音楽です。たしかにチャイコフスキーは絶望していたけれど、この交響曲を書きながら最後まで戦っていたのです。」

ラフマニノフのピアノ協奏曲第2番について—

「『悲愴』と並んで最も愛されているロシア音楽ですし、それにラフマニノフはチャイコフスキーを崇拝し、靈感を得るばかりか、実際的な編曲のうえでも大きな影響を受けていました。ラフマニノフは遅れて現れた最後の偉大なるロマン主義者です。ピアノ協奏曲第2番は、同時期に書かれたR・シュトラウスの『サロメ』の現代性とくらべると、ロシア教会の鐘の音を思わせるような、失われた過去への郷愁を強く感じさせます。いわば、不思議な視線を投げながら現代の街をうろつく最後の恐竜—。そんなふうに形容できるのがラフマニノフのおもしろさだと思います。」

聞き手: 香原斗志(音楽ジャーナリスト)

1987年ヴェローナ生まれのアンドレア・バッティストーニは、『ナブッコ』(二期会オペラ)での共演を皮切りに、定期演奏会での『トゥーランドット』、ローマ三部作、『展覧会の絵』、鮮烈な第九公演と立て続けにそのカリスマと繊細な音楽性でセンセーションを巻き起こしている。

2016年10月東京フィル首席指揮者に就任。ジェノヴァ・カルロ・フェリチェ歌劇場首席客演指揮者。

アンドレア・バッティストーニ 指揮



©Ayako Yamamoto

松田華音 (ピアノ)

◎最優先発売(定期会員・賛助会員):10月6日(木) ◎優先発売(東京フィルフレンズ会員):10月15日(土) ◎一般発売:10月20日(木)

料金 SS席(限定プレミアシート) ¥15,000/S席 ¥10,000/A席 ¥8,500/B席 ¥7,000/C席 ¥5,500

【チケットのお申込み・お問合せ】

■東京フィルチケットサービス [平日10:00~18:00 10/15のみ10:00~16:00]

03-5353-9522

■東京フィルWEBチケットサービス [クレジットカード決済 座席選択可 10/15~10/19まで割引(SS除く)]

http://www.tpo.or.jp/

※演奏中及び楽章間のご入場はお断りしております。※やむを得ない事情により、出演者・演奏曲目・曲順などが変更されることがあります。※ご予約後のキャンセルは承れません。※公演中止の場合を除き、チケット代金の払い戻しはいたしませんので、ご了承ください。※未就学児のご入場はお断りしております。

プレイガイド

- Bunkamuraチケットセンター(3/12のみ)
03-3477-9999 <http://www.bunkamura.co.jp/mybunkamura/>
- 東京オペラシティチケットセンター(3/13のみ) 03-5353-9999
- チケットぴあ 0570-02-9999 <http://t.pia.jp/>
[Pコード 3/12公演:311-170 3/13公演:311-174]
- イープラス <http://eplus.jp/>
- 楽天チケット <http://ticket.rakuten.co.jp/>
- ローソンチケット 0570-000-407 <http://l-tike.com/>
[Lコード 3/12公演:31771 3/13公演:32112]
- 東京文化会館チケットサービス 03-5685-0650

※託児サービス(有料・要予約・3/13のみ) イベント託児・マザーズ 0120-788-222

さまざまな
割引
サービス

東京フィルフレンズ割引 入会金・年会費一切無料。優先予約やチケット料金の10%OFF他さまざまな特典がございます。

車椅子割引 車椅子でご来場の方は指定ブロック席にて、S席料金の50%OFFにてお楽しみいただけます。同伴者1名様も同料金となります。

特別割引 身体障害者手帳をお持ちの方は、一般料金の50%OFFでお求めになれます。

学生当日券 公演当日に残席がある場合、開演1時間30分前より各ホール当日券販売窓口にて、1,000円で限定数販売いたします(要学生証)。座席をお選びいただけません。

東京フィル

検索

TokyoPhilharmonic

